

- 検討(第二報). 第47回口腔外科学会総会, 2002. 10. 31.-11. 1, 札幌.
- 36) 川上美貴, 芳澤享子, 小林正治, 泉 直也, 齊藤力, 安島久雄, 小野和宏, 高木律男: 智歯の移植に関する臨床的検討. 第56回日本口腔科学会, 2002. 5. 9-10, 大阪.
- 37) 布川寧子, 村田雅史, 遠藤基広, 渡辺 覚, 芳澤享子, 小林正治, 小野和宏, 齋藤 力, 高木律男, 吉江弘正: 自家歯牙移植歯GCF中の炎症性及び骨代謝マーカーの解析による治癒経過のモニタリング, 日本保存学会 2002年度 秋季学会(第117回), 2002. 11. 21-22, 徳島.
- 38) 齊藤孝親, 中山 均, 佐々木好幸, 鈴木一郎, 玉川裕夫, 成澤英明, 荻原芳幸, 日高理智, 森本徳明, 山田卓也, 西田 悟: 歯科医療情報の標準化作業 - ICD-DA対応歯科標準病名マスターについて -. 第22回医療情報学連合大会, 2002. 11. 16, 福岡.
- 39) Izumi K., Feinberg, S.E.: Tissue engineered oral mucosa equivalent. BioMed Expo 2002 Technology Showcase. October 24, 2002 EMU Convocation Center, Ypsilanti, MI, USA.
- 6) 林 孝文, 新垣 晋, 星名秀行: T1・T2舌癌の口腔内超音波所見と頸部リンパ節転移との関係. 口腔腫瘍, 13(3): 75-79, 2001.
- 7) 小野和宏, 越知佳奈子, 森田修一, 飯田明彦, 早津誠, 藤田 一, 高木律男, 石井一裕, 朝日藤寿一, 花田晃治: 唇顎口蓋裂と唇顎裂を有した一卵性双生児の顎発育に関する縦断的観察 - 二段階口蓋形成手術法の影響 -. 日本口蓋裂学会雑誌, 27(3): 339-349, 2002.
- 8) 嵐山貴徳, 高木律男, 小林龍彰, 福田純一, 長島克弘, 鈴木 誠: 下顎頭の骨内に発生したガングリオンの1例. 日口外誌, 48(11): 584-587, 2002.
- 9) 碓井由紀子, 小野和宏, 高木律男, 永田昌毅, 飯田明彦, 今井信行, 福田純一, 藤田 一, 早津 誠, 寺尾恵美子, 児玉泰光, 青山玲子: 顎裂部への二次的骨移植に関する臨床統計的観察. 新潟歯学会誌, 32(1): 53-61, 2002.
- 10) 朝日藤寿一, 寺田員人, 小野和宏, 八木 稔, 小林正治, 飯田明彦, 野村章子, 佐藤孝弘, 吉羽永子, 田井秀明, 石井一裕, 田口 洋, 小林富貴子, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 高木律男, 花田晃治: 新潟大学歯学部附属病院口蓋裂診療班登録患者の動向によるチームアプローチの評価について. 日本口蓋裂学会雑誌, 27(3): 297-305, 2002.

### 顎顔面口腔外科学分野

#### 【論文】

- 1) Lai, W., Yamada, K., Hanada, K., Ali, L. M., Takagi, R., Kobayashi, t., and Hayashi, T.: Postoperative mandibular stability after orthognathic surgery in patients with mandibular protrusion and mandibular deviation. Int. J. Adult Orthod. Orthognath. Surg., 7(1): 13-22, 2002.
- 2) Ida-Yonemochi, H., Ikarashi, T., Nagata, M., Hoshina, H., Takagi, R. and Saku, T.: The basement membrane-type heparan sulfate proteoglycan (perlecan) in ameloblastomas: its intercellular localization in stellate reticulum-like foci and biosynthesis by tumor cells in culture. Virchows Arch., 441: 165-173, 2001.
- 3) Maruyama, S., Cheng, J., Inoue, T., Takagi, R., Saku, T.: Sebaceous lymphadenoma of the lip: report of a case of minor salivary gland region. J Oral Pathol Med 31: 242-243, 2002.
- 4) Arai, T., Ishii, K., Morita, S., Hanada, K., Ono, K., Takagi, R.: Effects of Hotz 'plate-based two-stage palatoplasty on craniofacial development. 日本口蓋裂学会雑誌, 27(3): 306-324, 2002.
- 5) 小野和宏, 石井一裕: 新潟大学歯学部附属病院における唇顎口蓋裂患者の管理・治療について. 矯正臨床, 23: 1-17, 2001.
- 11) 鍛冶昌孝, 高木律男, 星名秀行, 福田純一, 服部幸男, 小野和宏, 永田昌毅, 飯田明彦: 上顎前方移動術が鼻咽腔におよぼす影響について - 口蓋裂症例の安静時X線による検討 -. 日本口腔外科学会雑誌, 48(10): 501-504, 2002.
- 12) 鶴巻 浩, 小柳広和, 星名秀行, 高木律男, 程 瑠, 朔 敬: 81歳女性の鼻歯槽嚢胞の1例: 炎症性発生機序の可能性. 新潟歯学会雑誌, 32(1): 63-67, 2002.
- 13) 鈴木英弘, 高木律男, 今井信行, 長島克弘: 多剤薬物アレルギーを有する小児顎放線菌症の1例. 小児口腔外科, 12: 15-20, 2002.
- 14) 前新直志・磯野信策・寺尾恵美子: 幼児期から学齢期にかけての吃音指導の1例 - 間接法中心から直接法中心への移行に伴う母子の心理的变化 -. 特殊教育学研究, 32(5): 33-45, 2002.
- 15) 網塚憲生, 関 雪絵, 前田健康: 癌の骨転移の微細構造. Clinical Calcium 12(6): 137-145, 2002.
- 16) 布田花子, 森田修一, 山田秀樹, 花田晃治, 齋藤力, 高木律男: Le Fort 型骨切り術に伴う鼻部の変化 - 上下顎移動術を施行した女性骨格性下顎前突症例について -. 日本顎変形症学会雑誌12(3): 85-93, 2002.12
- 17) 興地隆史, 福島正義, 葭原明弘, 子田晃一, 小野和宏, 小林 博, 魚島勝美, 小山純市, 植田耕一郎,

高木律男, 前田健康, 花田晃治: 本学歯学部卒前教育における客観的臨床能力試験(OSCE)の導入. 日歯教誌, 18(2): 300-307, 2003.

## 【著書】

- 1) 高木律男, 飯田明彦(分担): イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 4. 小児歯科疾患・口腔病変・不正咬合 34. 口腔の出血. 黒崎紀正編著, 医歯薬出版, 東京, pp.148-153. 2002. 7月.

## 【商業誌】

- 1) 大塚純正, 三河雅敏, 和田康弘, 柴崎好伸, 三辺武幸, 高木律男, 山田 敦, 館村 卓, 稲村喜一, 三村保: 日本口蓋裂学会ホームページ(JCLP)の開設. 日口蓋誌, 27: 2002.  
Establishment of Homepage for Japanese Cleft Palate Association (JCLP)
- 2) 朝日藤寿一, 小野和宏: Pierre-Robin症候群. YEAR BOOK 今日の治療指針 02. p276, クインテッセンス出版, 東京, 2002.
- 3) 河野正司, 花田晃治, 前田健康, 吉江弘正, 高木律男, 齋藤 力, 興地隆史, 小野和宏, 小林正治, 八巻正樹, 芳澤享子, 村田雅史, 澤田宏二, 布川寧子: 歯の移植の科学. The Quintessence, 28(1): 9-20, 2003.

## 【研究成果報告書】

- 1) 花田晃治, 山田好秋, 前田健康, 高木律男: 歯学教育改革の推進.平成12年度教育研究改革・改善プロジェクト事業(学長裁量経費), 450万円 2002年.
- 2) 永田昌毅: DNAマイクロアレイ法を用いた遺伝子発現解析による新しい口腔癌の診断法の開発.平成12~13年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2)課題番号12671929(総額350万円(12年度270万円, 13年度80万円)研究成果報告書. 2002年3月.
- 3) 花田晃治, 山田好秋, 前田健康, 高木律男, 興地隆史, 小野和宏, 葭原明弘, 永田昌毅: 歯学教育プログラムへのPBL(Problem-Based Learning)教育の導入.平成13年度新潟大学教育研究改革・改善プロジェクト事業報告書. 90頁(学長裁量経費 3,499,040円) 2002年.

## 【講演・シンポジウム】

- 1) 小野和宏, 石井一裕, 高木律男, 花田晃治, 大橋 靖: 二段階口蓋形成手術の長期成績. 日韓および世界口唇口蓋裂討論会, 大阪, 2002年5月11日.

## 【学会発表】

- 1) Amizuka, N., Seki, Y., Kenmotsu, S., Sasaki, T. and Maeda, T.: Cellular alteration of growth plate chondrocytes affected by mechanical stress. The 24th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, San Antonio, TX, 2002. 9. 20-24, J. Bone Miner. Res. 2002 in press
- 2) 山中正文, 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 星名秀行, 藤田 一, 長島克弘, 早津 誠, 池田順行: 顎口腔領域の癌患者に対する上部消化管内視鏡検査の有用性. 第35回新潟歯学会総会, 新潟市, 2002年4月20日.
- 3) 永田昌毅, 藤田 一, 依田浩子, 星名秀行, 井上達夫, 長島克弘, 関 雪絵, 大西 真, 大山登喜男, 新垣 晋, 朔 敬, 高木律男: 口腔扁平上皮癌の遺伝子発現様相に基づくリンパ節転移予測因子の検討. 第35回新潟歯学会総会, 新潟市, 2002年4月20日.
- 4) 鶴巻 浩, 星名秀行: 新潟中央病院歯科口腔外科における80歳以上の高齢者に対する歯科治療の現況. 第35回新潟歯学会総会, 新潟市, 2002年4月20日.
- 5) 藤田 一, 永田昌毅, 関 雪絵, 星名秀行, 長島克弘, 新垣 晋, 大西 真: 口腔領域における悪性および良性病変のテロメラゼ活性定量の臨床的意義. 第56回日本口腔科学会総会, 大阪, 2002年5月9日.
- 6) 安島久雄, 高木律男, 前田健康: ラット上顎臼歯抜歯後の三叉神経節における神経栄養因子とその受容体の経時的変動. 第56回日本口腔科学会総会, 大阪市, 2002年5月9日.
- 7) 飯田明彦, 高木律男, 小林龍彰, 小野和宏, 福田純一, 田中 裕: 両側下顎関節突起欠損の1例. 第56回日本口腔科学会総会, 大阪, 2002年5月9日.
- 8) 小山貴寛, 高木律男, 小野和宏, 飯田明彦, 安島久雄, 林 孝文, 程 珺, 朔 敬: 悪性を疑わせた高齢者の上顎骨中心性血管腫の1例. 第56回日本口腔科学会総会, 大阪市, 2002年5月9日.
- 9) 川上美貴, 芳澤享子, 小林正治, 泉 直也, 齋藤力, 安島久雄, 小野和宏, 高木律男: 智歯の移植に関する臨床的検討. 第56回日本口腔科学会総会, 大阪, 2002年5月9日.
- 10) 早津 誠, 小野和宏, 飯田明彦, 永田昌毅, 碓井由紀子, 児玉泰光, 寺尾恵美子, 高木律男, 大橋靖: 二段階法における軟口蓋閉鎖後の硬口蓋裂の推移に関する検討; Furlow 法による軟口蓋閉鎖施行例について. 第26回日本口蓋裂学会総会, 岡山市, 2002年5月30日. 日口蓋誌, 27(2): 151, 2002.

- 11) 寺尾恵美子, 高木律男, 小野和宏, 永田昌毅, 飯田明彦, 早津 誠, : Furlow 法を施行した口蓋裂児の言語成績. 第26回日本口蓋裂学会総会, 岡山市, 2002年5月30日. 日口蓋誌, 27(2): 190, 2002.
- 12) 吉開義弘, 藤田 一, 星名秀行, 永田昌毅, 長島克弘, 高木律男: 顎口腔領域における口腔多発癌20例の臨床的検討. 第40回日本口腔科学会北日本地方会, 弘前市, 2002年6月6日.
- 13) 大久保博基, 福田純一, 高木律男, 星名秀行, 飯田明彦, 朔 敬: 顎変形症患者に発見された遊離性上顎洞内骨腫の1例. 第28回(社)日本口腔外科学会北日本地方会, 弘前市, 2002年6月6, 7日.
- 14) 小林龍彰, 高木律男, 嵐山貴徳, 小林富貴子, 林孝文: CTによる下顎頭内部吸収像の検討. 第15回日本顎関節学会総会, 東京, 2002年6月27日, 28日.
- 15) 池田順行, 井上佳世子, 高木律男, 前田健康: ラット顎関節におけるB型細胞の出現. 第15回日本顎関節学会総会, 東京, 2002年6月27日, 28日.
- 16) 山田裕士, 小林龍彰, 八木 稔, 井上達夫, 安島久雄, 池田順行, 高木律男: 検診による顎関節症状の疫学的研究. 第15回日本顎関節学会総会, 東京, 2002年6月27日, 28日.
- 17) 飯田明彦, 泉 健次, 高木律男, 芳澤享子, 鈴木一郎, 齋藤 力: 口腔前庭拡張術(付着歯肉形成術)に培養複合口腔粘膜を使用した4例の臨床的検討. 第12回日本口腔粘膜学会総会, 宇都宮市, 2002年7月12日.
- 18) 寺尾恵美子, 小野和宏, 永田昌毅, 飯田明彦, 早津誠, 高木律男: Furlow法を施行した口蓋裂児の言語成績. 平成14年度新潟歯学会総会, 2002年7月13日.
- 19) 関 雪絵, 網塚憲生, 織田公光, 高木律男, 前田健康: 培養軟骨細胞におけるFGFR3とPTH/PTHrP受容体の発現調節について. 第20回日本骨代謝学会, 岡山, 2002年7月25-27日.
- 20) 布田花子, 森田修一, 山田秀樹, 齋藤 力, 高木律男, 花田晃治: Le Fort 型骨切り術に伴う鼻部の変化. 第12回日本顎変形症学会総会, 東京, 2002年7月29日, 30日.
- 21) 福田純一, 高木律男, 星名秀行, 小野和宏: 当科における上下顎移動術施行症例の臨床統計学的観察. 第12回日本顎変形症学会総会, 大阪, 2002年7月29日, 30日.
- 22) 児玉泰光, 高木律男, 星名秀行, 小野和宏, 福田純一, 八巻正樹: 顎矯正手術後の成長により再び非対称を生じた下顎非対称の1例. 第12回日本顎変形症学会総会, 大阪, 2002年7月29日, 30日.
- 23) 竹山雅規, 森田修一, 山田秀樹, 武藤祐一, 齋藤力, 高木律男, 花田晃治: オトガイ形成術による軟組織側貌の変化. 第12回日本顎変形症学会総会, 東京, 2002年7月29日, 30日.
- 24) スウィラム・ワイル, 五十嵐輝江, 依田浩子, 星名秀行, 高木律男, 林 孝文, 朔 敬: 口唇腫瘍. 第13回日本口腔病理学会総会, 東京, 2002年8月23, 24日.
- 25) メイ・シアフリアディ, 依田浩子, 五十嵐輝江, 丸山 智, ジェン・カイユ, 程 瑠, 星名秀行, 高木律男, 朔 敬: 口腔粘膜白色病変. 第13回日本口腔病理学会総会, 東京, 2002年8月23, 24日.
- 26) 丸山 智, 程 瑠, 五十嵐輝江, 星名秀行, 高木律男, 朔 敬: 上唇腫瘍. 第13回日本口腔病理学会総会, 東京, 2002年8月23, 24日.
- 27) ハムディ・メトワリ, 鈴木 誠, 程 瑠, 星名秀行, 高木律男, 林 孝文, 朔 敬: 下顎骨腫瘍. 第13回日本口腔病理学会総会, 東京, 2002年8月23, 24日.
- 28) Jen Kai Yu, 程 瑠, 星名秀行, 高木律男, 田中礼, 林 孝文, 朔 敬: 上顎腫瘍. 第13回日本口腔病理学会総会, 東京, 2002年8月23, 24日.
- 29) 前新直志・松本治雄・寺尾恵美子: 幼児吃音に対する直接的アプローチの試み - 随伴運動の除去を優先目標としたケース -. 日本特殊教育学会第40回大会, 2002年9月15日.
- 30) 児玉泰光, 齋藤裕子, 吉開義弘, 若菜茂晴, 丹羽太貴, 木南 凌: 放射線誘発マウス胸腺リンパ腫の感受性抵抗性遺伝子座; 連鎖解析およびコンジェニックマウスを用いた5番染色体上の検索. 第61回日本癌学会総会, 東京, 2002年10月1日.
- 31) 佐藤洋樹, 落合幸江, 齋藤有子, 田村 康, 児玉泰光, 若菜茂晴, 丹羽太貴, 木南 凌: マウス胸腺リンパ腫の感受性遺伝子座; 放射線誘発下の各感受性遺伝子の相互作用と化学物質誘発下の感受性遺伝子座の解析. 第61回日本癌学会総会, 東京, 2002年10月1日.
- 32) 関 雪絵, 網塚憲生, 織田公光, 高木律男, 前田健康: 培養軟骨細胞におけるFGFR3とPTH/PTHrP受容体の発現調節について. 第44回歯科基礎医学会総会, 東京, 2002年10月4日. 歯科基礎医学会雑誌, 44(5): , 2002.
- 33) 池田順行, 野澤-井上佳世子, 高木律男, 前田健康: ラット顎関節滑膜B型細胞の発生過程. 第44回歯科基礎医学会総会, 東京, 2002年10月3-5日. 歯基礎誌, 44(5): 452, 2002.
- 34) 程 瑠, 丸山 智, 鈴木 誠, 藤田 一, 高木律男, 朔 敬: 石灰化歯原性嚢胞上皮細胞の試験管内石灰化と幻影細胞化. 第44回歯科基礎医学会総会,

- 東京, 2002年10月3-5日. 歯基礎誌, 44(5): 480, 2002.
- 35) 李 敏啓, 網塚憲生, 竹内亀一, 高木律男, 前田健康: マウス肋骨骨折の初期治癒過程における組織学的観察. 第44回歯科基礎医学会総会, 東京, 2002年10月4日. 歯基礎誌, 44(5): 2002.
- 36) 藤田 一, 永田昌毅, 星名秀行, 新垣 晋, 高木律男: 口腔癌ならびに良性口腔病変のテロメラーゼ活性定量的臨床的意義について. 第40回日本癌治療学会, 東京, 2002年10月16-18日. 日本癌治療学会誌, 37(2): 381, 2002.
- 37) 永田昌毅, 藤田 一, 関 雪絵, 星名秀行, 長島克弘, 田中 賢, 吉開義弘, 大西 真, 新垣 晋, 朔敬, 高木律男: MMP-1遺伝子発現定量による口腔扁平上皮癌の転移予測. 第47回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌市, 2002年10月31日-11月1日.
- 38) 田中 賢, 星名秀行, 長島克弘, 藤田 一, 永田昌毅, 飯田明彦, 高木律男: 口腔癌N3症例に対する温熱化学放射線療法の経験. 第47回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌市, 2002年10月31日-11月1日.
- 39) 小野和宏, 小林正治, 毛利 環, 森田修一, 橋本明彦, 高木律男: 歯槽骨外科により咬合再建した下顎前歯部中心性血管腫(術後)の1例. 第47回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌市, 2002年10月31日.
- 40) 井上達夫, 高木律男, 小野和宏, 飯田明彦, 小林龍彰, 福田純一, 安島久雄: 先天的な下顎頭形態異常を有する患者の臨床的観察. 第47回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌市, 2002年10月31日-11月1日.
- 41) 小林正治, 高田佳之, 泉 直也, 石黒慶史, 新垣晋, 飯田明彦, 高木律男, 齊藤 力: 閉塞型睡眠呼吸障害患者に対するRadiofrequency Therapy第47回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌市, 2002年10月31日-11月1日.
- 42) 芳澤享子, 小野由紀子, 濱本宜興, 小林正治, 齊藤力, 早津 誠, 飯田明彦, 高木律男, 布川寧子, 村田雅史, 吉江弘正: 凍結保存歯移植に関する臨床的検討(第二報)第47回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌市, 2002年10月31日-11月1日.
- 43) 新美奏恵, 芳澤享子, 川上美貴, 濱本宜興, 小林正治, 齊藤 力, 小野和宏, 高木律男: 歯根完成歯移植後の歯根吸収に関する臨床的検討. 第47回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌市, 2002年10月31日-11月1日.
- 44) 小山純市, 林 孝文, 小林富貴子, 田中 礼, 高木律男: Bone graft後の唇顎口蓋裂症例におけるbone bridgeの経時的評価. 第43回日本歯科放射線学会総会, 長崎市, 2002年10月18日. 歯科放射線, 42(増刊号): 60, 2002.
- 45) 小野和宏, 飯田明彦, 福田純一, 高木律男, 毛利環, 橋本明彦: 下顎前歯部中心性血管腫術後に生じた広範囲な歯および歯槽骨欠損に対して集学的歯科治療を行い咬合再建した1例. 第60回日本形成外科学会関東支部新潟地方会, 新潟, 2002年11月11日.
- 46) 奈良井省太, 福田純一, 高木律男, 小野和宏, 星名秀行, 藤田 一, 長島克弘, 平 周三, 丸山 智, 朔 敬: 石灰化歯原性嚢胞5例の臨床病理学的検討. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2002年11月9日.
- 47) 小林孝憲, 高木律男, 小野和宏, 飯田明彦, 碓井由紀子, 安島久雄: 母親の運転する自転車前方部に乗車中転倒し生じた小児関節突起完全骨折の2例. 第14回日本小児口腔外科学会, 高松市, 2002年11月23日.
- 48) 星名秀行, 長島克弘, 藤田 一, 田中 賢, 齊藤正直, 鶴巻 浩, 高木律男: 温熱化学放射線療法を施行した進行・再発下顎歯肉癌5例. 第21回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市, 2003年1月30日.
- 49) 齊藤正直, 星名秀行, 長島克弘, 藤田 一, 田中賢, 高木律男: 顎骨中心性癌6例の臨床病理学的検討. 第21回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市, 2003年1月30日.
- 50) 林 孝文, 平 周三, 新垣 晋, 鈴木一郎, 野村 務, 星名秀行, 長島克弘: 口腔内超音波走査による舌癌の深達度と頸部リンパ節転移との関係. 第21回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市, 2003年1月30日.
- 51) 福田純一, 高木律男, 小野和宏, 飯田明彦, 藤田 一, 早津 誠: 精神発達遅滞を有する患者に対する外科的矯正治療の経験. 第61回日本形成外科学会関東支部新潟地方会, 新潟市, 2003年2月10日.

## 【研究会発表】

- 1) 田中 賢, 星名秀行, 長島克弘, 藤田 一, 永田昌毅, 飯田明彦, 高木律男: 口腔癌N3症例に対する温熱化学放射線療法. 第16回新潟ハイパーサーミア研究会, 新潟市, 2002年5月24日.
- 2) 藤田 一, 吉開義弘, 星名秀行, 長島克弘, 永田昌毅, 関 雪絵, 田中 賢, 齊藤正直, 大西 真, 高木律男: 口腔多発癌20例の病態ならびに背景に関する臨床的検討. 第62回新潟癌治療研究会, 新潟市, 2002年7月27日.
- 3) 相田 恵: 下顎骨周囲炎の治療中に発症した頸部亜急性壊死性リンパ節炎の1例. 第51回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2002年11月21日.

## 【講演会・FD主宰】

- 1) 歯学部FD: Slavkin "Problem Based Learning at

the University of Southern California"新潟大学歯学部, 2002年6月7日.

- 2) 大学院特別セミナー: 田端泰彦 "再生医療の現状と展望 - 生体組織工学の役割 -" 新潟大学歯学部, 2002年9月25日.
- 3) 北関東甲信越地区HIV講習会: 塚田弘樹, 池田正一 "HIV/肝炎ウイルス感染者に対する歯科診療の心得" 新潟県歯科医師会館, 2002年10月19日.
- 4) 大学院特別セミナー: 北村信隆 "EBM時代の統計的データ解析を考える" 新潟大学歯学部, 2002年11月28日.
- 5) 歯学部附属病院FD: Michael Glick "Special consideration for Dental Patients with HIV/AIDS" 新潟大学歯学部, 2003年1月29日.

#### 【その他】

- 1) 高木律男: 第15回母親教室 "唇顎口蓋裂"ってどんな病気 - あかちゃんから大人まで -, 新潟大学歯学部, 2002年5月14日.
- 2) 高木律男: 血液媒介ウイルス感染と歯科治療. 平成14年度歯科臨床研修医セミナー (公開), 新潟大学歯学部, 2002年6月19日.
- 3) 児玉泰光, 木南凌, 高木律男: Genetic study of susceptibility to the development of mouse thymic lymphoma. 第19回新潟大学歯学部口腔外科, 歯科麻酔科同門会, 新潟市, 2002年6月29日.
- 4) 星名秀行: 口腔癌の治療と再建. 新潟 SJCD 平成14年度7月例会, 新潟市, 2002年7月10日.
- 5) 小林龍彰: 顎関節の外科外来 顎関節穿刺法. 平成14年度新潟大学同窓会学術セミナー, 新潟大学歯学部附属病院, 2002年11月8日, 2003年2月7日.
- 6) 安島久雄: 歯を磨く習慣が社会性を育てる. にこにこ子育てランド. 両津市教育委員会, 2002年10月20日.
- 7) 飯田明彦: 口唇口蓋裂. 長岡赤十字病院看護学校講義. 2002年11月5日.
- 8) 星名秀行: 口腔癌の診断と治療. 平成14年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2002年11月20日.
- 9) 小野和宏: 口唇口蓋裂の病態と治療. 平成14年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2002年12月18日.
- 10) 星名秀行: 口腔外科におけるインシデント. 歯学部附属病院内インシデント報告会, 新潟大学歯学部, 2003年1月10日.

#### 摂食機能再建学分野

#### 【論文】

- 1) MD., M., Rahman, Kohno, S., Kobayashi, H., Sawada, K.: Influence of the inclination of the plate of an intra-oral tracing device on the condylar position registered by tapping movement, J Oral Rehabil (in press)
- 2) Tanaka, M., Toyooka, E., Kohno, S., Ozawa, H., Ejiri, S.: Long-term changes on trabecular structure in aged rat alveolar bone following ovariectomy. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 95(4): 495-502, 2003.
- 3) Okayasu, I., Yamada, Y., Kohno, S., Yoshida, N.: New animal model for studying mastication in oral motor disorders. J Dent Res 82(4): 318-321, 2003.
- 4) 野首孝祠, 長島 正, 松屋篤三, 福島正義, 河野正司, 大山喬史ほか10名: 国立大学歯学部附属病院卒後臨床研修共通カリキュラムに基づいた研修項目の集計ならびに評価システムの開発, 日本歯科医学教育学会雑誌17(1): 151-161, 2002.
- 5) 泉 健次, 小林正治, 本間克彦, 新垣 晋, 齊藤力, 寺田員人, 石井一裕, 森田修一, 野村章子: 顎裂部骨移植後の咬合形成に関する臨床的検討, 日口蓋誌27(1): 58-66, 2002.
- 6) 関本智信, 河野正司: ガイド傾斜角度の実験的変化が犬歯の脈動に及ぼす影響, 補綴誌 46(2): 175-184, 2002.
- 7) 湊 修, 河野正司: 鉤間線は浮上り時における絶対的な回転軸ではない - 下顎片側遊離端義歯における検証 -, 補綴誌 46(5): 655-664, 2002.
- 8) 朝日藤寿一, 寺田員人, 小野和宏, 八木 稔, 小林正治, 飯田明彦, 野村章子, 佐藤孝弘, 吉羽永子, 田井秀明, 石井一裕, 田口 洋, 小林富貴子, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 高木律男, 花田晃治: 新潟大学歯学部附属病院口蓋裂診療班登録患者の動向によるチームアプローチの評価について, 日口蓋誌, 27: 297-305, 2002.
- 9) 石岡 克, 河野正司: 咬合支持の安定性が持続的身体運動に及ぼす影響. 新潟歯学会誌 32(2): 267-273, 2003.
- 10) 木内延年, 河野正司, 池田圭介, 道見 登, 植田耕一郎: パラトグラム舌運動機能診断法をもとにした舌接触補助床による摂食嚥下障害者の治療, 補綴誌 47: 135-144, 2003.
- 11) Nomura, A.: Folosirea protezelor amovibile creste cantitatea de secretie salivara la pacientii partial sau total edentati, Viata Stomatologica 2: 8-9, 2002